

経済学部

経済学科



経済学部での学び

経済学部では経済社会における人々、企業、政府の意思決定の在り方とその選択が社会に与える影響を理解し、多様化する社会課題を解決できる人材を育成します。

講義や演習を通じて理論分析による仮説の提案方法、データおよびフィールドワークによる検証方法を学び、経済に関するさまざまな課題に取り組みます。これらの学びを通じて、現在の日本経済や東北経済の状況を分析し、その動き(メカニズム)を理解する力、将来の経済動向を予測する力、政策提言できる力を身につけます。

経済学部をもっと知る



Admission policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済に関する社会現象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
3. 高等学校における学習によって、経済学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらに応用する力を有している。(知識・技能)

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
 6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



経済学科

人間の営為を俯瞰・分析し、正しく社会を見通せる人へ

人々の選択が社会に及ぼす影響を、経済の視点から紐解き、社会の課題を解決できる人材を育成します。



経済学科をもっと知る



専門分野

理論コース

経済学の理論をより深く理解するとともに、さまざまな経済思想を学ぶ。

産業・政策コース

現実の経済のさまざまな分野で行われる取引や政策の意味や効果を経済学的に理解する。

社会経済コース

経済現象を時間的・空間的な広がりの中に位置付けて現代経済の諸相を理解する。

最新の学科担当教員はこちら



Topics

学科の特色1

少人数教育で専門性を高める

経済学科は、少人数で行われる演習(ゼミ)を中心とした教育に力を入れているところに特徴があります。多様な専門を持つ先生のもとで学ぶことで、経済現象を深く説明できるようになります。学生は学外の論文コンテストなどにも積極的に参加し、その研究成果は高く評価されており、毎年複数の受賞実績を残しています。また、演習(ゼミ)によっては、フィールドワークを行ったり、自治体と学生が協力して政策立案を行ったりすることで、理論(数式)と実証(データ)と現実(フィールド)を結び付ける学びを行っています。



Topics

学科の特色2

外部講師による特別講義で知識を実践力へ

仙台市や(株)東京商工リサーチ、財務省東北財務局、野村証券(株)から講師を招き、政策現場、企業の現場での経験に基づいた講義を行っています。これらの講義を受講することで、一見、非合理に見える政策や企業行動が生まれる理由を現場を見ることで理解できるようになり、経済学のおもしろさを一層実感できます。



学びの成果で懸賞論文入賞 やり切った達成感は最高でした

4年 菅原 泉有希 さん
(岩手県/一関第一高等学校出身)

地元・一関が好きで将来は地元で貢献したい、そのために東北地方全般の経済を学ぼうと本学を志望しました。学部が多い総合大学で、多様な人に会える点も選んだ理由です。

入学すると、経済学はお金の知識に留まらない幅広い学問だと感じました。ゼミは少人数で先生が一人ひとりに向き合ってください、学びが深まりました。一番の思い出は、ゼミ仲間と「超低金利の長期化による影響」をテーマに「みずほ学術振興財団 第63回懸賞論文」に応募して2等選ばれ、学長表彰をいただいたこと。分析のためのプログラミングとデータ入力が大変でしたが、やり切った達成感は最高でした。卒業後は地元で公務員として働きます。地域の良さを活かし中小企業や自営業を支え、地域の活性化に取り組みたいです。



NEXT

卒業生からのメッセージ

